

Ⅲ 地域の再生

＜主要施策の取組状況＞

1 地域再生に向けた地域と一体となった取り組み支援

- ・市町村等が行う鳥獣被害対策（捕獲、防護柵設置、ヤマビル防除等）へ財政的な支援を行うとともに、丹沢山地を含む各地域（湘南、県央、県西）県政総合センターに鳥獣被害防除対策専門員を計5名配置し、鳥獣の生態や被害対策等についての情報提供や住民等への指導をおこなった。さらに、県の環境部門と農政部門からなる鳥獣被害対策支援チームの活動を推進し地域自らが継続的・計画的な被害対策を推進する仕組み作りを支援した。（Vシカ等野生動物の保護管理再掲）
- ・平成26年度に、一般県民に鳥獣被害の現状を伝えるため、神奈川ワイルドライフフォーラムを開催した。
- ・伊勢原市子易における野生生物対策に対して林地と農地の境界部における森林整備の実施や生態系調査、自動撮影カメラの保守、事業報告会の実施等の支援を行い、地域主体の取組が促進されるとともに地域と行政の連携が図られた。
- ・統合再生プロジェクト（東丹沢2）の中で、森林整備や鳥獣被害対策の状況について県と村の担当で情報交換を行った。また、現地検討会として地域と一体となった野生動物被害対策を行っている伊勢原市の現場の見学を行い、他自治体の取組について意見交換等を行った。

2 里山地域の保全・再生と活用

- ・里地里山条例に基づき、認定団体が行う農林地等の保全・再生、体験教室等に要する経費に対し、市町村を通じて補助金を交付した（7地区）。
- ・化学合成農薬等の使用量削減取組みや有機農業の取組に対して、国・市町とともに補助金を交付するとともに、エコファーマーの認定及び環境保全型農業に取り組む団体との協定締結により、し、環境保全型農業への取組の推進を行った。

○地域と一体となった取組支援の実施状況（平成26年度）

鳥獣被害対策	水源林整備・里山整備
・市町村等への財政的支援。 ・3地域県政総合センターに鳥獣被害防除対策専門員（5名）の配置。 ・3地域県政総合センターにて立ち上げられた鳥獣被害対策支援チーム。	・地域水源林整備事業の実施。 (実績はⅡ人工林再生を含む)

○里山里山地域の保全・再生と活用の実施状況（平成26年度）

里地里山条例に基づく認定団体の活動支援実施状況	環境保全型農業の推進状況
7 地区	・エコファーマー数（18 名） ・環境保全型農業推進運動協定締結団体数（5 団体）

*エコファーマー数及び協定締結団体数は、対象市町村及び地区における認定数及び協定締結団体数。

農地を活用した農作業体験の状況
（子ども里地里山体験学校 厚木市七沢地内）



ヤブの刈り払い状況（伊勢原市子易地内）
（地域住民と連携した鳥獣被害対策）



○地域の再生に関係する事業実施場所（位置情報のある事業のみ掲載）

